基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同自然人類学分科会の設置について

分科会等名： 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 自然人類学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎生物学委員会 ○応用生物学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	新生した日本学術会議において、われわれ人類の現状とその将来を科学的な視点から考察することは、重要な任務である。生物としての人間の現状は、その過去を知ることから正しく把握することができるので、この点に関係した自然人類学の諸分野(形質人類学、古人類学、分子人類学、進化人類学、生態人類学、生体人類学、霊長類学、先史学など)の専門家が集まって、自然人類学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信を目的とする。特に、人類の現状把握および人類の過去と未来についての考察をもとに、政策提言・社会提言を行うことも目的とする。また、関連する国際学術団体との連携についても、この分科会が窓口となることが期待される。
4	審議事項	基礎的な自然人類学の研究成果を社会に貢献する方法と手段の審議に関する事。
5	設置期間	年 月 日～ 年 月 日 / <input type="text" value="常設"/>
6	備考	